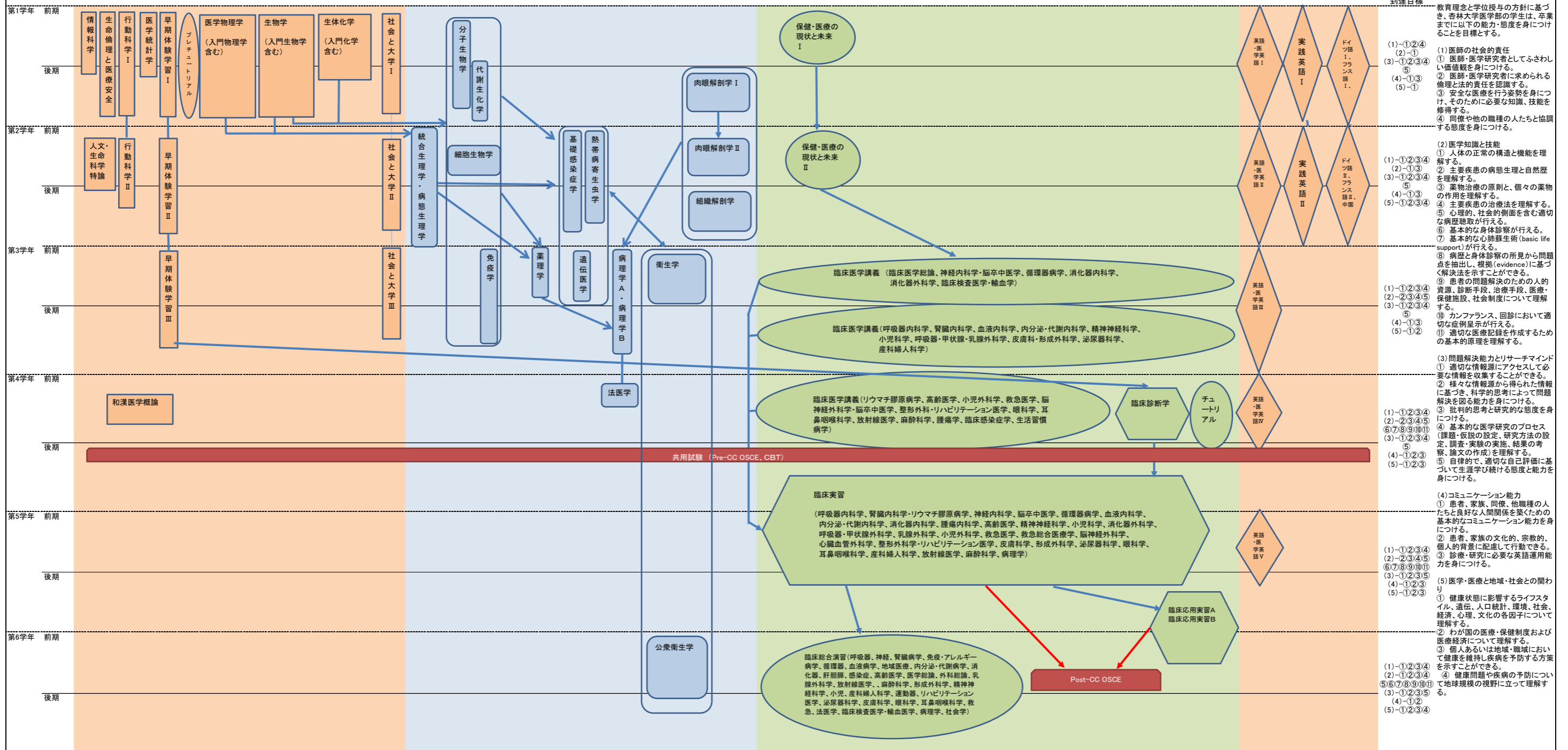


| | | 医療と教養 科学と医療 | | 医学の基礎 人体の機能 異常の発生と制御 人体の構造 | | 臨床医学講義 / 臨床実習 | | 医療と教養 外国語 | | | | | | | | | | | | | |
|------|----|----------------|-----------|-------------------------------------|-------|---------------|-----------|-----------------|---------------|---------------|----------|----------|----------|---------|----------------|------------|---------|------------------------|--|---|--|
| 第1学年 | 前期 | 情報科学 | 生命倫理と医療安全 | 行動科学 I | 医学統計学 | 早期体験学習 I | プレチュートリアル | 医学物理学 (入門物理学含む) | 生物学 (入門生物学含む) | 生体化学 (入門化学含む) | 社会と大学 I | 分子生物学 | 代謝生化学 | 肉眼解剖学 I | 保健・医療の現状と未来 I | 英語・医学英語 I | 実践英語 I | ドイツ語 I, フランス語 I | (1)-①②④ (2)-① (3)-①②③④ (4)-①③ (5)-① | (1) 医師の社会的責任 (2) 医師・医学研究者としてふさわしい価値観を身につける。 (3) 医師・医学研究者に求められる倫理と法的責任を認識する。 (4) 安全な医療を行う姿勢を身につけ、そのために必要な知識、技能を修得する。 (5) 同僚や他の職種の人たちと協働する態度を身につける。 | |
| 第1学年 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2学年 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第2学年 | 後期 | 人文・生命科学特論 | | 行動科学 II | | 早期体験学習 II | | 統合生理学・病態生理学 | 細胞生物学 | 基礎感染症学 | 熱帯病・寄生虫学 | 社会と大学 II | 肉眼解剖学 II | 組織解剖学 | 保健・医療の現状と未来 II | 英語・医学英語 II | 実践英語 II | ドイツ語 II, フランス語 II, 中国語 | (1)-①②③④ (2)-①③ (3)-①②③④ (4)-①③ (5)-①②③④ | (2) 医学知識と技能 ① 人体の正常の構造と機能を理解する。 ② 主要疾患の病態生理と自然歴を理解する。 ③ 薬物治療の原則と、個々の薬物の作用を理解する。 ④ 主要疾患の治療法を理解する。 ⑤ 心理的、社会的側面を含む適切な病歴聴取が行える。 ⑥ 基本的な身体診察が行える。 ⑦ 基本的な心肺蘇生術 (basic life support) が行える。 ⑧ 病歴と身体診察の所見から問題点を抽出し、根拠 (evidence) に基づく解決法を示すことができる。 ⑨ 患者の問題解決のための人的資源、診断手段、治療手段、医療・保健施設、社会制度について理解する。 ⑩ カンファレンス、回診において適切な症例呈示が行える。 ⑪ 適切な医療記録を作成するための基本的原理を理解する。 | |
| 第3学年 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第3学年 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4学年 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第4学年 | 後期 | 和漢医学概論 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5学年 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第5学年 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第6学年 | 前期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 第6学年 | 後期 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |



- 杏林大学医学部学生の到達目標
- 教育理念と学位授与の方針に基づき、杏林大学医学部の学生は、卒業までに以下の能力・態度を身につけることを目標とする。
- ① 医師の社会的責任
 - ② 医師・医学研究者としてふさわしい価値観を身につける。
 - ③ 医師・医学研究者に求められる倫理と法的責任を認識する。
 - ④ 安全な医療を行う姿勢を身につけ、そのために必要な知識、技能を修得する。
 - ⑤ 同僚や他の職種の人たちと協働する態度を身につける。
- (2) 医学知識と技能
- ① 人体の正常の構造と機能を理解する。
 - ② 主要疾患の病態生理と自然歴を理解する。
 - ③ 薬物治療の原則と、個々の薬物の作用を理解する。
 - ④ 主要疾患の治療法を理解する。
 - ⑤ 心理的、社会的側面を含む適切な病歴聴取が行える。
 - ⑥ 基本的な身体診察が行える。
 - ⑦ 基本的な心肺蘇生術 (basic life support) が行える。
 - ⑧ 病歴と身体診察の所見から問題点を抽出し、根拠 (evidence) に基づく解決法を示すことができる。
 - ⑨ 患者の問題解決のための人的資源、診断手段、治療手段、医療・保健施設、社会制度について理解する。
 - ⑩ カンファレンス、回診において適切な症例呈示が行える。
 - ⑪ 適切な医療記録を作成するための基本的原理を理解する。
- (3) 問題解決能力とリサーチマインド
- ① 適切な情報源にアクセスして必要な情報を収集することができる。
 - ② 様々な情報源から得られた情報に基づき、科学的思考によって問題解決を図る能力を身につける。
 - ③ 批判的思考と研究的な態度を身につける。
 - ④ 基本的な医学研究のプロセス (課題・仮説の設定、研究方法の設定、調査・実験の実施、結果の考察、論文の作成) を理解する。
 - ⑤ 自律的で、適切な自己評価に基づいて生産性続ける態度と能力を身につける。
- (4) コミュニケーション能力
- ① 患者、家族、同僚、他職種のの人たちと良好な人間関係を築くための基本的なコミュニケーション能力を身につける。
 - ② 患者、家族の文化的、宗教的、個人的背景に配慮して行動できる。
 - ③ 診療・研究に必要な英語運用能力を身につける。
- (5) 医学・医療と地域・社会との関わり
- ① 健康状態に影響するライフスタイル、遺伝、人口統計、環境、社会、経済、心理、文化の各因子について理解する。
 - ② わが国の医療・保健制度および医療経済について理解する。
 - ③ 個人あるいは地域・職種において健康を維持し疾病を予防する方を示すことができる。
 - ④ 健康問題や疾病の予防について地球規模の視野に立って理解する。